

発刊によせて

令和2年度の教育要覧「戸田市の教育」の発刊にあたり、日ごろより本市教育行政の発展に御理解、御協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

本市では、市政施行50周年を迎えた平成28年度を教育改革元年とし、「戸田市の教育振興に関する大綱」「第3次戸田市教育振興計画」「第4次戸田市生涯学習推進計画」を施行し、「新しい学びの創造」「指導力ある教職員の育成」「新たな教育行政への転換」「豊かな学びの創造」に重点的に取り組んでいます。

先行き不透明な時代にあって、子供たちが自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくためには、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力などの「21世紀型スキル」や、「汎用性スキル」「非認知スキル」の育成が必要不可欠であると考え、本市では産官学民の知のリソースを活用した教育改革に取り組んでいます。その中でも、プログラミング教育（Programming）、英語教育（English）、経済教育（Economic Education）、リーディング・スキル（Reading Skills）の頭文字をとった小中一貫のPEERカリキュラムやアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善は大きな柱となっています。こうした取組により、本市は4年連続で県内トップレベルの学力を保持するなど、着々と効果が現れ始めています。

さらに、現在は、Subject（教科教育）、EBPM（Evidence-Based Policy Making）、EdTech（Education×Technology）、PBL（Project-Based Learning）の頭文字をとったSEEPプロジェクトを推進しています。特に、今年度は、「教育政策シンクタンク」のさらなる機能充実を目指し、外部の専門機関を活用しながら、収集したデータの一元化・標準化を行い、分析を進めることで、エビデンスに基づく効果的な教育施策の展開へつなげてまいります。

この他、教育相談については、市内全中学校へ市独自にスクールカウンセラーを配置し、全中学校へ毎週1回以上の定期訪問を実施することで、相談体制の一層の充実を図ります。また、弁護士資格を有する教育委員会ロイヤーを配置し、学校経営や教育行政に関する法的な助言を得ることで教職員のコンプライアンス向上を進めてまいります。

さらに、平成30年度導入したコミュニティ・スクールにより、学校と保護者と地域住民が知恵を出し合い、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを目指します。

学校教育の環境整備については、近年の夏の猛暑により、児童・生徒の体調管理の観点から、体育の授業に影響が出ていることを踏まえ、令和2年度は、中学校において体育館にエアコンを設置し、稼働してまいります。また、小学校においても、設計業務を進め、令和2年度に体育館にエアコンを設置してまいります。

本要覧は、本市における教育行政全般、各教育機関及び学校の諸活動についての概要をまとめたものです。戸田市の教育施策と現状を御理解いただく一助として皆様に御活用いただきますとともに、今後も本市の教育に対し、より一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年8月1日

戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤